

公務なのになぜ秘密？

答 抵抗感を示す懸念が



山田直志 議員

条例より町長判断か

問 1日町長室の内容を公開しない理由は。

答 公表が前提では率直な声を寄せる抵抗感を示す懸念がある。今後も差し控える。

問 情報公開条例では、町長も対象だ。対応としては個人情報保護条例もある。個人は守られる。

答 根拠に条例第3条に配慮義務がある。

ふるさと納税の用途は

問 ふるさと納税の使い道の計画はないのか。

答 方向性は、「子育て支援」や「移住定住促進」「教育環境整備」などに重点を置いて活用。

なぜダンスイベントに補助金をつけるのか

問 ダンスイベントに補助金を付ける理由は。

答 被災者との交流を支援をしている。補助金の交付先であるNPO法人では商工会の支援がなくなり、自己負担しているの、復興支援に対し助成を行う。

問 義援金などは自助努力をすべきだ。町民の税金を渡してNPO法人が届けて感謝されるのはおかしい。

消防設備の整備への補助は

問 消防法の基準が強化され、町内には対応に苦慮している事業者もいる。把握しているか。

答 駿東伊豆消防組合で立ち入り調査をしているが、苦慮している話は聞いていない。

問 消防設備などに町が助成した実績はなく、事業者の負担で実施されること望ましい。

問 立ち入り調査で未だに改善されてない事業者は71社、特に屋外消火栓

やスプリンクラーの未設置21社になっている。廃業が続出するのは。 **答** 事業者への補助は考えていないが、今後は耐震補強もあるので、これは支援していきたい。

地区防災計画の推進を

問 国が進めている地区防災計画を知っているか。どのように地区防災計画の策定を進めるのか。

答 先進事例、国パンフなどを、区長会を通じて、告知を図った。

問 自主防災会では役員が交代することや計画策定の負担など課題が多い。自発的な取り組みを期待したい。

ジャイアントパンダの誘致は

答 観光目的に誘致は考えていない



須佐 衛 議員

アスト会館の周辺の活用について

問 アスト会館の売却は町に大きな可能性を与えるが、町の考えは。

答 今回の売却は「動物飼育者養成機関」としての計画で、2学年で120名の若者がこの町で学ぶことになる。期待される教育面・経済面、さらに地域コミュニティに関して、適切な協力体制が取れるよう協定を結んでいきたい。

問 周辺の広大な土地を利用して、ジャイアントパンダが誘致できないか。



シャンシャン 上野動物園のパンダは伊豆の竹をエサにしている
写真提供：(公財) 東京動物園協会

答 パンダのレンタル料は一頭当たり年間5千万円程度といわれている。施設整備やノウハウ、費用面などを考えると困難である。

問 上野動物園のパンダは伊豆の竹を食べて育っている。和歌山のアドベンチャーワールドは15頭のパンダを誕生させた。この夏も一頭産まれている。要因としては環境の良さ

とエサが近くにあることだそう。

問 近くにアニマルキングダムがあるし、研究機関としてはバナナワニ園もある。「癒し」の観光や町民に「夢」を与えることにもなるが。

答 話題にすることは十分可能で、夢を抱くことも将来を見すえ大切と考える。

ふるさと納税の現状について

問 ここ数年の推移は。 **答** 一昨年にクレジット決済を始め、2億6千万円に飛躍的に伸びた。しかし、昨年度から返礼割合が3割に見直されたこともあり、3千550件、1億8千万程度減少している。

問 ポータルサイトへの登録を増やすことは検討しているか。寄付してくださる方は写真で判断するしかないの、いわゆる「インスタ映え」するような見栄えの良い写真に差し替えが必要では。